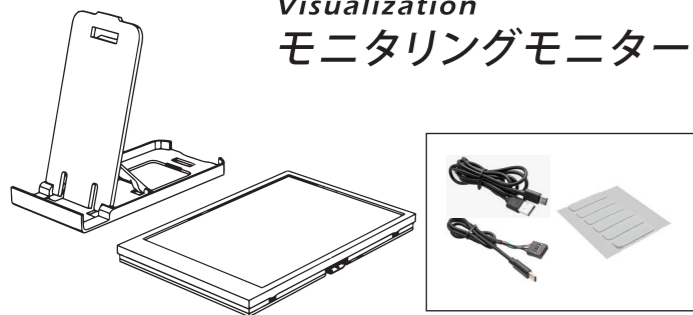


## Visualization モニタリングモニター



液晶サイズ	3.5インチ
パネル	IPS
解像度	480 x 320
本体サイズ	約 87 x 57 x 8.5 mm
本体重量	約61g
付属品	USB A-C ケーブル (約140cm) USB 9pin メス - Cケーブル (約45cm) ミニスタンド / 両面テープ
対応OS	Windows 11 / 10 / 8.1 / 7

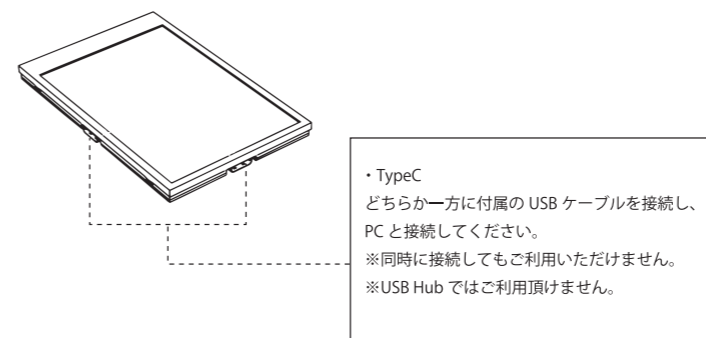
1-1

### ご利用上の注意

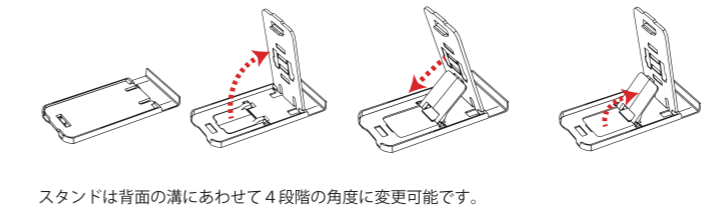
- パソコンの内部に部品を取り付ける場合は、パソコンの電源及び周辺機器の電源を OFF にしてから取付作業を行ってください。
- パソコンで使用直後はパソコン内部に触れないで下さい。内部に高温になる部分があり危険です。冷めるまでお待ちください。
- 液体、異物が入らないように注意してください。また、本製品を高温、多湿、火気周辺、結露が発生する場所、強い磁気が発生する場所、平ではない場所、その他常識では考えられないような場所で使用しないでください。
- 本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取り付けるパソコン及び周辺機器の取扱説明書を併せてご確認ください。
- 異音、異臭がする場合は直ちに使用を止め、当社までお問い合わせください。
- 本製品は精密機器です。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないように作業してください。
- 本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いて下さい。静電気が発生しにくい衣類を身に着けて作業を行ってください。
- 本製品を接続する前に必ずパソコンデータのバックアップを行ってください。本製品の故障又は使用上生じた他機器の破損、損害及びデータ損失につきましては一切の責任を負いません。
- 特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。
- 本製品を破棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄してください。

1-2

### ■端子



### ■スタンド



1-3

### ■ソフトウェア

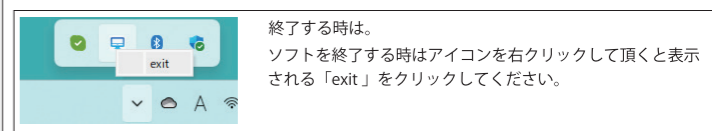
ソフトウェアは下記商品ページよりダウンロードを行ってください。  
<https://area-powers.jp/product/others/4580722550886/>

実行ファイルをダウンロードして頂く関係でウイルス対策ソフトによってはウイルスと判断してダウンロードが出来ない場合がございます。お手数ですが、ウイルスソフトを一時停止してダウンロードを行ってください。ダウンロードファイルは圧縮されていますので展開(解凍)してご利用ください。



本ソフトウェアはパソコン起動時に都度起動して頂く必要があります。

実行ファイル(.exe)を実行して頂きますとタスクバー内に収納されています。こちらをダブルクリックをして頂くと画面(ページ2-1)が表示されます。



1-4

### ■スクリーンの切替

ページ 1-34 実行して頂くと下記画面が表示されます。



登録済み以外の表示スクリーンを作成したい場合は本書の2-2～4-3をお読みください。

2-1

### ■オリジナルスクリーンの作成



2-2

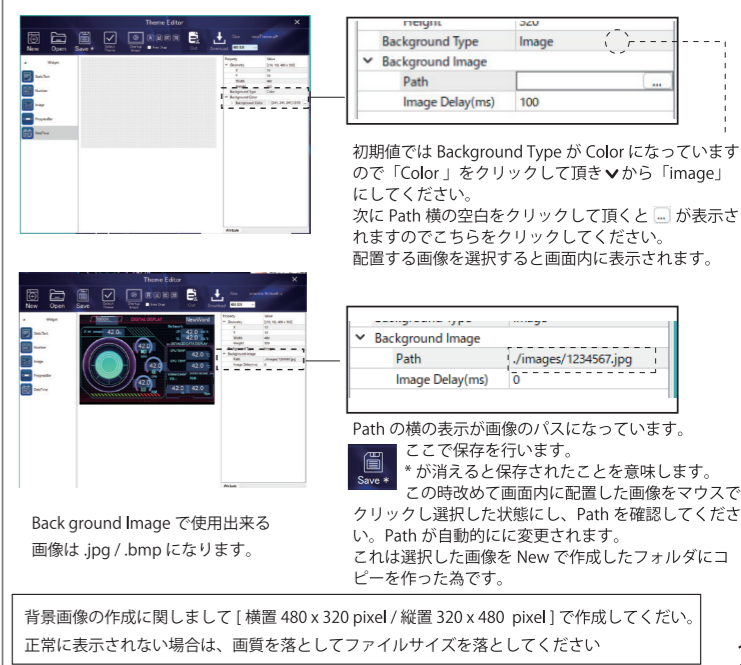
### ■配置 縦、横

スクリーンの配置にあわせて縦横を事前に決めてください。



2-3

### ■Back ground Image(背景)の配置



2-4

■Cut に関しまして  
※Background Image が収まらない場合がございます。



Cut は 2-4 で配置した Background Image の調整ができる機能になります。image を配置していない状態では黒い画面が映るだけになります。



**Fill**  
比率等がおかしくなりますが枠内に収まるように調整します。

**Zoom In**  
画像を拡大します。

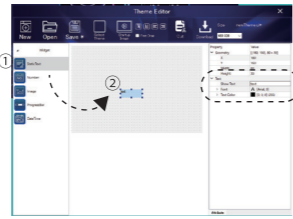
**Zoom Out**  
画像を縮小します。

**OK**  
Fill / Zoom In / Zoom out の調整結果をソース元の画像に反映します。

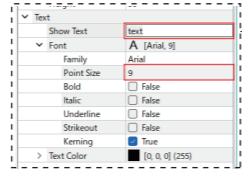
**Cancel**  
Cut の操作を取りやめます。

3-1

■Static Text

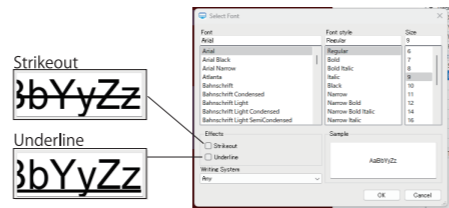


①でアイコンをドラッグし、②の表示範囲でドロップしてください。  
「text」と表示されます。  
配置場所はダブルクリックで移動可能です。



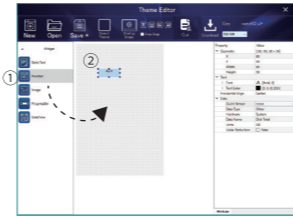
文字入力は Show Text にておこないます。  
左の例の画像で [text] の部分に文字を入力してください。  
Point Size にて文字の大きさを変更できます。

フォントを変更する場合は Font を選択して頂くことが表示され、クリックすると別ウィンドウが開きます。



3-2

■Number



①でアイコンをドラッグし、②の表示範囲でドロップしてください。  
「42.0」と表示されます。  
配置場所はダブルクリックで移動可能です。

この数値は何を意味するのかは Quick Sensor の選択項目により決まります。

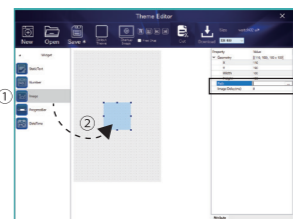
※表示が出来ない場合がございます。  
ご利用のメーカー、マザーボード等によって情報がとれないようになっている場合がございます。  
予めご了承ください。

■Quick Sensor 選択可能一覧

none	ram usage	temperature → 温度
cpu temperature	ram available	usage → 使用率
cpu clock	ram usage	available → 未使用容量
cpu usage	disk temperate	
cpu fan	disk total	
gpu temperature	disk used	
gpu clock	disk available	
gpu usage	network upload	
gpu memory clock	network download	
gpu memory usage	sound volume	
ram used		
ram available		

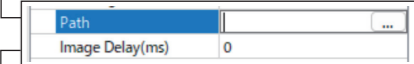
3-3

■Image



①でアイコンをドラッグし、②の表示範囲でドロップしてください。  
フレームが表示されます。  
配置場所はダブルクリックで移動可能です。

ここでは Background の上に配置する画像を置く事が可能です。



このボタンをクリックして配置したい画像を選択してください。  
左の図のように配置されます。

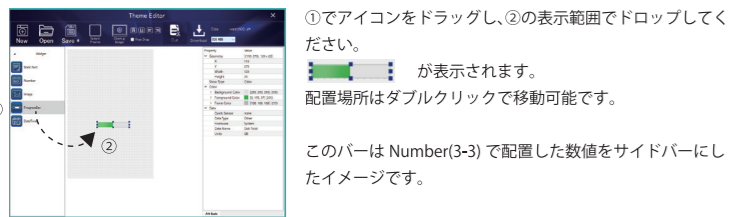
この時、画像の Path は最初画像の配置位置の Path を表示していますが、Save した時に保存先フォルダが異なると変更されます。

※これはシーケンスを行う場合は保存先フォルダにデータを入れる必要がある為、覚えておいてください。

シーケンスによる動きを付ける場合はファイル名 0～9 の合計 10 枚で行うことが可能です。  
image Delay(ms) はこの間隔調整に使用します。  
右の例ですと fan0.png を image で配置します。  
保存先フォルダの同じ箇所に fan1.png / fan2.png を置いてください。Image Delay の設定間隔で 0～2 を順に表示します。



3-4



①でアイコンをドラッグし、②の表示範囲でドロップしてください。  
が表示されます。  
配置場所はダブルクリックで移動可能です。

このバーは Number(3-3) で配置した数値をサイドバーにしたイメージです。

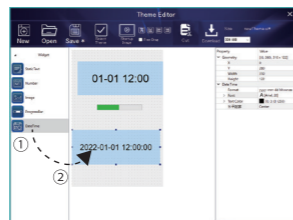
※表示が出来ない場合がございます。  
ご利用のメーカー、マザーボード等によって情報がとれないようになっている場合がございます。  
予めご了承ください。

■選択可能一覧

none	ram usage	temperature → 温度
cpu temperature	ram available	usage 使用率 →
cpu clock	ram usage	available → 未使用容量
cpu usage	disk temperate	
cpu fan	disk total	
gpu temperature	disk used	
gpu clock	disk available	
gpu usage	network upload	
gpu memory clock	network download	
gpu memory usage	sound volume	
ram used		
ram available		

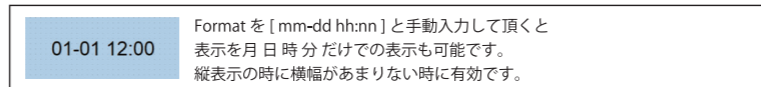
4-1

■DateTime

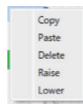


左の DateTime をドラッグし、表示エリアにドロップしてください。  
※フォントによっては文字化けする場合がございます。  
そのような場合は別フォントをご利用ください。

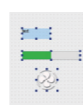
DateTime は日付や時間の表示を行います。



オブジェクトの階層。  
文字より画像が上にある状態の時は、文字を選択して右クリックして「Raise」をクリックしてください。  
または画像を右クリックして「Lower」をクリックして前後を入れ替えます。

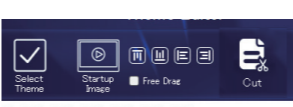


オブジェクトの複数選択。  
オブジェクトの整列をする場合、複数選択が必要になります。「Ctrl」キーを押しながら選択するオブジェクトをクリックしてください。



4-2

■その他のアイコンに関しまして



Select Theme

こちらに  を入れて頂くと Theme List に入れる事ができます。

Startup Image

起動時の画像を選択する事ができます。

Back ground Image が横配置の時のみ、ご利用頂ける機能です。

整列

Ctrl キーを押しながらオブジェクトを複数選択した状態で整列キー押しと、整列します。



Free Drag

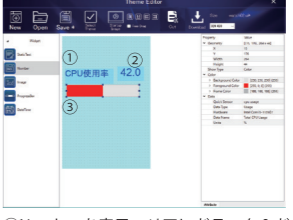
グリッド配置をフリーで配置出来るようになります。

Cut

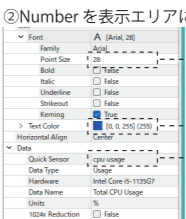
BackGround のイメージに対してサイズ調整をする為のものになります。

(3-1 参照)

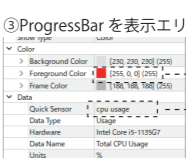
■配置例 (これまでのページでの内容を使用した配置例です。)



①StaticText を表示エリアにドラッグ & ドロップします。  
「CPU 使用率」と入力。  
----- PointSize(文字の大きさ)を 23 へ変更。この時フレーム(青い点)を広げてください。  
----- 背景とのバランスに合わせて色を変更。



②Number を表示エリアにドラッグ & ドロップします。  
----- PointSize(文字の大きさ)を 28 へ変更。この時フレーム(青い点)を広げてください。  
----- 背景とのバランスに合わせて色を変更。

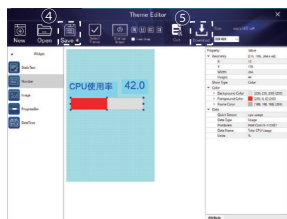


③ProgressBar を表示エリアにドラッグ & ドロップします。  
----- 背景とのバランスに合わせて色を変更。  
----- Quick Sensor の項目を Static Text で入力した CPU 使用率を意味する「cpu usage」を選択。  
----- Quick Sensor の項目を Static Text / Number で入力した CPU 使用率を意味する「cpu usage」を選択。  
最後にフレーム(青い点)でサイズを調整してください。  
以上の手順で例の表示になります。  
同じ事を「GPU 使用率」等の表示したい内容に変えて増やして頂けます。

4-3

4-4

■4-4 で作成したデータを保存し、ディスプレイに表示させる



④Saveを行ってください。  
⑤Downloadをクリックして頂くとモニターへダウンロードが始まります。100%になるまでお待ちください。

・注意  
Save\*と表示されています状態ではDownloadは行えません。

#### FAQ

Q\_情報が取り出せないメーカー  
A\_Dell製品は情報が取り出せないことが確認されています。

Q\_配置した画像が正常に表示されない。  
A\_解像度が超過していないか確認してください。  
また、本製品のメモリ容量は4MBになります。これには作業領域も含まれます。  
実質の合計容量は1MB～1.4MBを目安としてください。

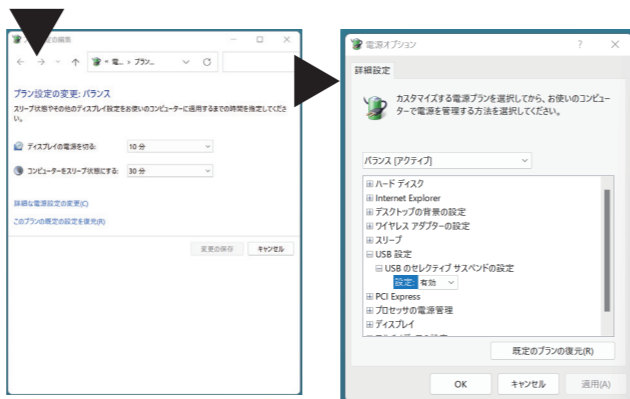
Q\_モニターがつきません。  
A\_USB電源オプションの設定変更(5-2)をお試しください。  
USB Hubではご利用頂けません。

5-1

#### USB電源オプション 設定変更 (Windows11)



検索にて「電源プラン」と検索してください。



「詳細な電源設定の変更」  
をタップしてください。

ツリー表示の中から「USB 設定」→「USB の  
セレクトティブ サスペンドの設定」を無効にしてください。  
最後に「適用」をクリックして完了です。

5-2